

科目名	建築計画ⅢA(2級)						学期	前期	
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	二級建築士 学科試験 I 計画の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	二級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築法規ⅢA(2級)						学期	前	期	期	
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	2		
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。										
授業内容	二級建築士 学科試験Ⅱ法規の試験対策										
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。										
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
2	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
3	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
4	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
5	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
6	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
7	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
8	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
9	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
10	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
11	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
12	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
13	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
14	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
15	二級建築士 学科Ⅱ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価								
	3. テストその他	0 %									
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他											

科目名	建築構造ⅢA(2級)						学期	前	期	期
担当教員	竹端 陽一／間部 啓亮	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	2	
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。									
授業内容	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策									
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。									
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
2	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
3	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
4	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
5	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
6	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
7	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
8	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
9	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
10	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
11	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
12	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
13	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
14	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
15	二級建築士 学科Ⅲ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築施工ⅢA(2級)						学期	前	期	期	
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	2		
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。										
授業内容	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策										
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め二級建築士 学科試験に合格する。										
使用テキスト	総合資格 二級建築士学科テキスト・問題集、総合資格 二級建築士試験 学科 過去問スーパー7										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
2	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
3	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
4	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
5	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
6	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
7	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
8	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
9	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
10	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
11	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
12	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
13	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
14	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
15	二級建築士 学科試Ⅳ施工の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価								
	3. テストその他	0 %									
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他											

科目名	建築設計製図ⅢA(2級)						学期	後 期	
担当教員	鬼塚 来未	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	10
学習目的	二級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	二級建築士 設計製図試験対策								
学習目標	課題の取り組みを通して知識・解法を身に付け、受験への意識を高め二級建築士に合格する。								
使用テキスト	総合資格 2級建築士試験 設計製図テキスト、総合資格 2級建築士試験 設計製図課題集								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	二級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築計画ⅢA(1級)						学期	前	期	期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	1	
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。									
授業内容	一級建築士 学科試験 I 計画の試験対策									
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。									
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
2	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
3	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
4	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
5	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
6	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
7	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
8	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
9	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
10	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
11	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
12	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
13	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
14	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
15	一級建築士 学科 I 計画の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築環境設備ⅢA(1級)						学期	前	期	期
担当教員	大楠 安紀	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	1	
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。									
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策									
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。									
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
2	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
3	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
4	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
5	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
6	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
7	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
8	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
9	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
10	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
11	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
12	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
13	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
14	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
15	一級建築士 学科試験Ⅱ 環境設備の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築法規ⅢA(1級)						学期	前	期
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	3
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅲ法規の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題、建築関係法令集 法令編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	一級建築士 学科Ⅲ法規の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造ⅢA(1級)						学期	前期	
担当教員	竹端 陽一／間部 啓亮	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	3
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅳ構造の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	一級建築士 学科Ⅳ構造の試験対策					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築施工ⅢA(1級)						学期	前期	
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 学科試験Ⅴ施工の試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	TAC 一級建築士 学科テキスト・問題集、総合資格 一級建築士 学科過去問スーパー7・ポイント整理と確認問題								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	一級建築士 学科Ⅴ施工の試験対策	【事前】	テキストの該当範囲をしておくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 0 %								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設計製図ⅢA(1級)						学期	後 期	
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	10
学習目的	一級建築士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。								
授業内容	一級建築士 設計製図試験対策								
学習目標	問題集の取り組みを通して知識を定着させ、受験への意識を高め一級建築士 学科試験に合格する。								
使用テキスト	適宜資料配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	一級建築士 設計製図試験対策	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 0 %	-							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	卒業制作Ⅲ						学期	後 期	
担当教員	AD	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	卒業制作に必要な準備とスキルを身につけ、自身が制作した作品の紹介								
授業内容	卒業制作に関わる技術訓練								
学習目標	Bitで学んだスキルの集大成を紹介する								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
2	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
3	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
4	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
5	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
6	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
7	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
8	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
9	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
10	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
11	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
12	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
13	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
14	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
15	卒業制作作業	【事前】				-			
		【事後】				-			
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 0 %								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	有償インターンシップⅢA						学期	前期	
担当教員	AD	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	自由選択	単位数	10
学習目的	職業意識を醸成するとともに学習意欲の向上を目的とする								
授業内容	机上で学んだことを企業にて体験・実践し、レポート提出をする								
学習目標	授業で学んだ知識を活かすとともに、実習を通して自主性・主体性・ビジネスマナーを習得する。								
使用テキスト	-								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	インターンシップに参後レポート提出・発表、実習先評価						
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加。身だしなみ・挨拶等実習先評価。						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	有償インターンシップⅢB						学期	後	期
担当教員	AD	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	自由選択	単位数	10
学習目的	職業意識を醸成するとともに学習意欲の向上を目的とする								
授業内容	机上で学んだことを企業にて体験・実践し、レポート提出をする								
学習目標	授業で学んだ知識を活かすとともに、実習を通して自主性・主体性・ビジネスマナーを習得する。								
使用テキスト	-								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	インターンシップに参後レポート提出・発表、実習先評価						
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加。身だしなみ・挨拶等実習先評価。						
	3. テストその他	0 %	-						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								